

まちづくりをテーマに講演が行われた山形大
米沢街中サテライトのフィナーレセミナー
＝米沢市・同サテライト



まちづくりは生き続ける

17日で閉鎖となる山形大
米沢街中サテライトのフィナー
レセミナーが14日、米沢市の
同所で開かれた。食環境ジャ
ーナリストの金丸弘美氏が
「百年幸せなまちをつくる」
と題して講演。運営に関わっ
た同大や金融機関の担当者、
大学生ら約50人が産学官連携
の重要性を確認し、活動を継
続する決意を新たにしました。
金丸氏は自らまちづくりに
携わった全国の自治体の取り

米沢・街中サテライト 閉鎖前、最後のセミナー

組みを紹介。このうち和歌山
県田辺市は若者を募って人材
育成塾を開き、多くの起業に
つなげたとし「金融、製造、
タウン紙、レストラン、高校
などの横の連携によるフォロ
ーが起業を実現させた。まち
づくりの核となるものを決
め、人を呼び込む仕組みをつ
くることが重要」と語った。
引き続き、2009年10月
の開設から7年半の活動をス
ライドで振り返った。サテラ

イトキャンパス長の小野浩幸
同大教授があいさつし「ここ
にサテライトはなくなるが、
あくまで休止と考える。連携
によるまちづくりと人材育成
は継続する」と強調した。
米沢街中サテライトは山大
工学部が国の支援事業を活用
して設置。国の支援終了後は
米沢市から補助金を得て運営
してきた。経営セミナーや授
業、大学生の活動拠点などと
して使われ、累計約3万1千
人が利用。市の補助金見直し
方針などを受けて閉鎖が決ま
った。

「ニホニウム」京 新元素命名式 東

理化学研究所のチームが
初めて合成し、命名権を得
た新元素ニホニウムの命名
式典が14日、日本学士院(東
京都)で開かれた。皇太子
さまも出席された。
皇太子さまは「日本の科
学技術が、世界の第一線に
あるということの証しであ
り、同時に、これからの未
来を担う若い人たちにとっ
ても大きな励みになると思
います」とたたえた。

式典では、国際学会「国
際純正・応用化学連合(IUPAC)」のタラソバ会長が
「113番元素がニホニウ
ムと命名された」と宣言。
実験チームを率いた森田浩
介・九州大教授は「大変光栄
だ。命名は、国民からの支援
や期待への感謝を込めた」と
あいさつした。終了後は、
森田さんの恩師で、今回別
の元素の命名権を得たロシ
アのオガネシアン氏と取材
に応じ「ようやくこの日を
迎えられたというのが正直
なところだ」と語った。